

# 1. これまでの経緯及び今後の進め方



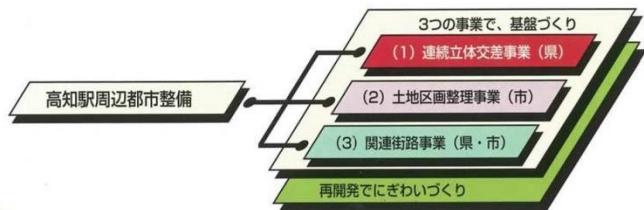
## (1)事業着手から工事中断



## 高知駅周辺都市整備の概要

### 快適な明日を築くプロジェクト。

渋滞の緩和、市街地を一体化、都市機能の向上のために、基盤整備を進めます。



### 21世紀に向けた新たな高知の街づくり。

高知駅周辺都市整備は、総合的な街づくりをめざして、3つの事業を県・市一体となって進めてまいります。これらの事業の進み方をみながら、再開発を行ってまいります。



#### 1 連続立体交差事業 (県)

中心市街地は、JR土讃線によって、南北に分断されています。高架事業により、南北市街地の均衡ある発展と都市機能の向上をはかります。

**高架区間：工事延長=4,080m**

久万川堤防から円行寺線を越えて山ノ端踏切までを高架化します。11箇所の踏切がなくなり、交差している道路の整備が図れます。基本幅員=6.0mの側道が、高架橋の両側にできます。高架橋は、周辺のまちなみと調和のとれたデザインとします。

**行違設備：工事延長=932m**

JR土讃線は単線のため、回送列車と行違えるように薊野駅付近を複線化します。

**車両基地：面積=約3ha**

高架化に伴い、布師田地区へ移転します。

#### 2 土地区画整理事業 (市)

高知駅周辺の約29.5haを区画整理し、街路や広場・公園などの整備を行い、住居環境の向上をはかり、また駅の近くにある空地の活用により拠点となる街区を創出して、良好な市街地に整備します。

#### 3 関連街路事業 (県・市)

新しい街づくりのため、高知駅周辺の幹線街路を整備します。

はりまや町一宮線 (幅員=25m)

4車線の幹線街路で、はりまや橋に集中する交通を緩和するため、はりまや町～比島町を整備します。

高知駅東線、高知駅西線 (幅員=25m)

4車線の幹線街路で、拠点街区を形成します。

愛宕町北久保線 (幅員=16～25m)

2車線の街路ですが、高知駅の北では4車線で整備し、拠点街区を形成するため、愛宕町～江陽町を整備します。

若松町比島線 (幅員=22m)

比島町と弥右衛門地区を結ぶ4車線の街路で、掘割方式によって鉄道と交差します。

#### 交差点改良

以上の街路新設に伴い、次の交差点を改良します。

- ① 比島旭町線とはりまや町一宮線との交差点
- ② 高知駅山ノ端線と高知駅西線との交差点
- ③ 高知南国線とはりまや町一宮線との交差点
- ④ 高知南国線と高知駅東線との交差点
- ⑤ 追手筋弥生町線とはりまや町一宮線との交差点

#### 4 再開発

拠点街区へ新しい都市機能を導入し、高知の陸の玄関にふさわしい賑わいのある街づくりを推進するため、委員会を設置し、再開発の基本的な構想や計画について検討を進めてまいります。

### これらの事業により、次のような効果があります。

- 南北市街地の均衡のとれた発展や、土地利用が増進され、**生活環境・都市機能の向上**がはかれます。
- 11ヶ所の踏切がなくなり、新しい幹線道路の整備により、**南北交通を円滑化**します。
- 南口と北口の駅前広場を整備して、鉄道・バス・電車などの乗り換えが便利になります。
- 再開発が促進され、陸の玄関にふさわしい、**にぎわいのあふれた街**となります。
- 高架下の空間を街づくりに活用できます。
- 幹線街路、側道、公園、広場などは、**防災機能の高い街づくり**の基礎となります。





連続立体交差事業
  土地区画整理事業
 
 関連街路事業

## 快適な明日を築くプロジェクト

渋滞の緩和、市街地の一体化、都市機能の向上のために、基盤整備を進めます。

### 1 JR土讃線連続立体交差事業（鉄道の高架化）

高知市は、JR土讃線によって、南北に分断されています。高架事業により、11箇所の踏切がなくなり、南北市街地の均衡ある発展と都市機能の向上を図ります。

### 2 高知駅周辺土地区画整理事業

高知駅周辺の約29.5haを区画整理し、街路や広場・公園などの整備を行い、住環境の向上を図り、また駅の近くにある空地の活用により拠点となる街区を創出して、良好な市街地に整備します。

### 3 関連街路事業

新しい街づくりのために、高知駅周辺の幹線街路を整備します。

- はりまや町一宮線
- 若松町比島線
- 高知駅東線・高知駅西線
- 交差点の改良（5ヶ所）
- 愛宕町北久保線





高知駅 (整備前)



(整備後)



高架橋と側道



入明駅



愛宕町踏切 (整備前)



(整備後)



金曜市 (高架下利用)



比島町東公園 (高架下利用)



相生町踏切 (整備前)



(整備後)



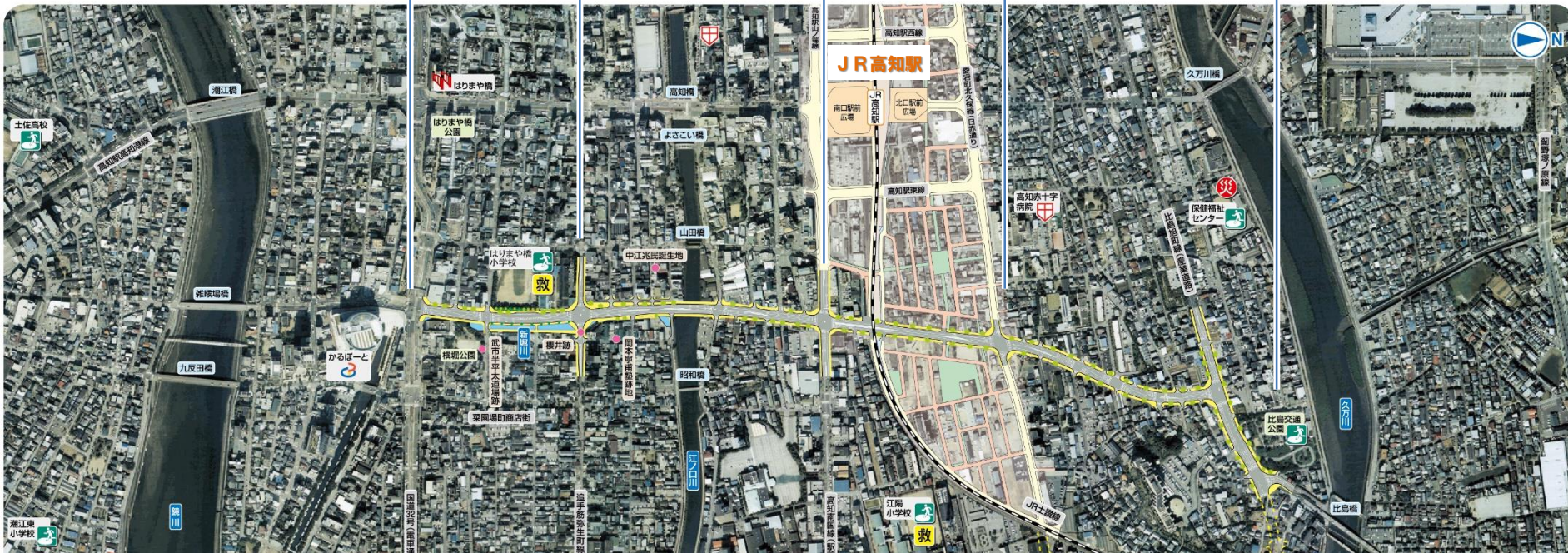
行違設備 (荊野駅付近)



車両基地 (布師田)



工 区	都市計画道路 はりまや町一宮線 L=1,765m		
	はりまや工区 (L=750m)	土地区画整理工区 (L=338m)	比島工区 (L=677m)
整備状況	工事中断 約280m	平成23年3月 供用開始	平成20年10月 供用開始



## 平成7年度 都市計画決定

はりまや町一宮線(はりまや工区)  
JR土讃線連続立体交差事業と高知駅周辺土地区画整理  
事業に関連する街路事業として平成7年に都市計画決定

### 【はりまや工区】 (高知県施行)

延 長： 750m  
事業費： 約109億円  
事業認可： 平成12年(2000)11月6日  
一部供用開始： 平成23年(2011)3月 (高知南国線から追手筋弥生町線間)

### 【土地区画整理工区】 (高知市施行)

延 長： 338m  
供用開始： 平成20年(2008)10月

### 【比島工区】 (高知県施行)

延 長： 677m  
事業費： 約62億円  
事業認可： 平成9年(1997)8月11日  
供用開始： 平成18年(2006)12月



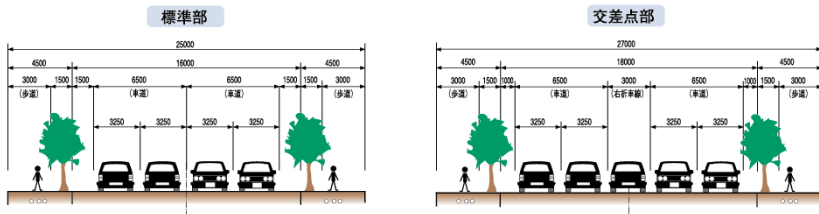
## はりまや町一宮線（はりまや工区） 路線の概要

事業名：都市計画道路はりまや町一宮線（はりまや工区）整備事業  
 事業主体：高知県  
 場所：高知市はりまや町一丁目から北本町三丁目  
 計画延長：L=750m  
 道路規格：道路構造令 第4種第1級  
 設計速度：V=50km/h  
 道路幅員：W=25~27m

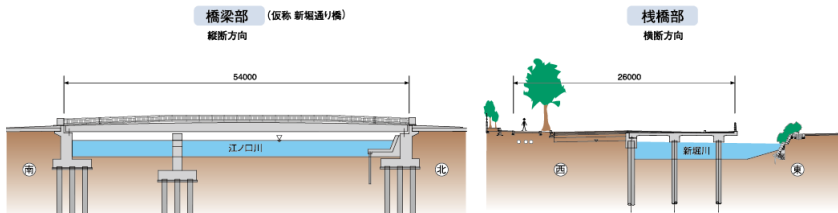
### 計画平面図（国道32号～江ノ口川）



### 標準断面図



### 主要構造断面図

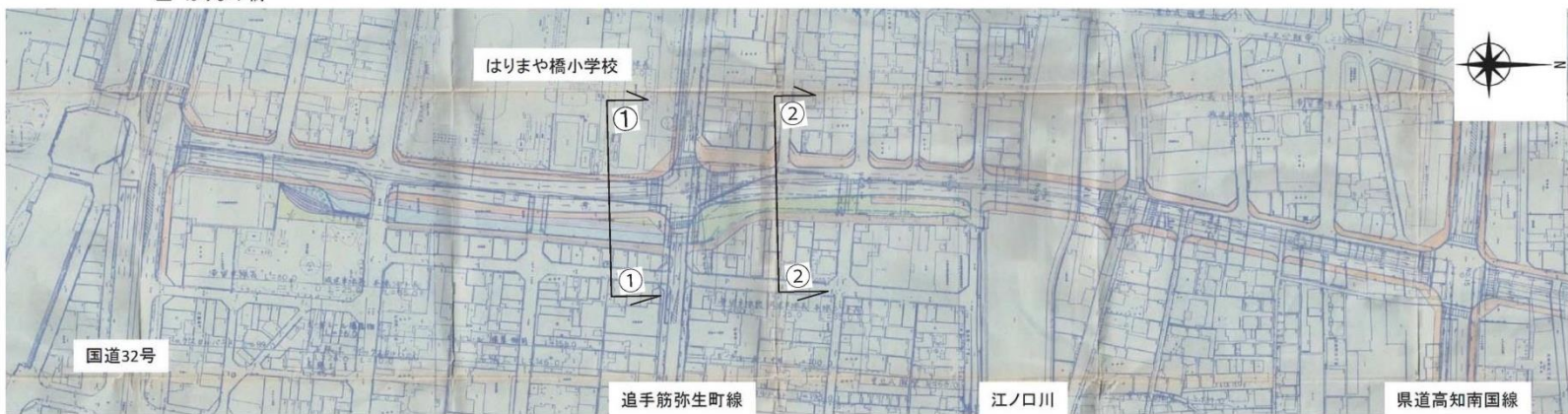


年度	法手続き等	検討会等	工事	調査等
H7 (1995)	都市計画決定			
H8 (1996)				
H9 (1997)	事業認可 (比島・土地区画整理工区)			
H10 (1998)				シオマネキの個体数の調査
H11 (1999)				
H12 (2000)	事業認可 (はりまや工区)	はりまや工区 検討会		
H13 (2001)		はりまや工区 検討会	ワーク ショップ	新堀川生態系 検討委員会
H14 (2002)		はりまや工区 検討会		移植
H15 (2003)	事業認可 (追加)			着手
H16 (2004)				
H17 (2005)	事業認可 (期間延伸)			
H18 (2006)				地元説明会 (見直し計画・関連事業 (電線地中化など))
H19 (2007)				移植
H20 (2008)				移植 環境調査 交通量調査
H21 (2009)	再評価委員会	新堀川自然環境観測・検証専門委員会		
H22 (2010)		新堀川自然環境観測・検証専門委員会	一部供用開始 (高知南園線～追手筋弥生町線)	
H23 (2011)			中断 (追手筋弥生町線～国道32号)	
H24 (2012)	事業認可 (期間延伸)			アンケート調査
H25 (2013)		新堀川自然環境観測・検証専門委員会		(駐車場の一部を撤去した環境の変化を調査)
H26 (2014)				
H27 (2015)				
H28 (2016)				
H29 (2017)		はりまや工区 まちづくり協議会		パブリックコメント



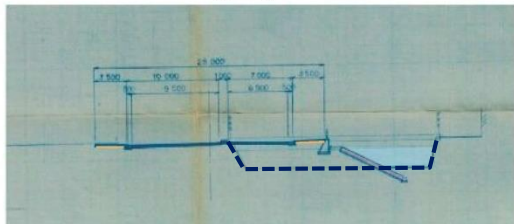
## 都市計画決定時における計画 (平成7年)

【平面図】 至 はりまや橋

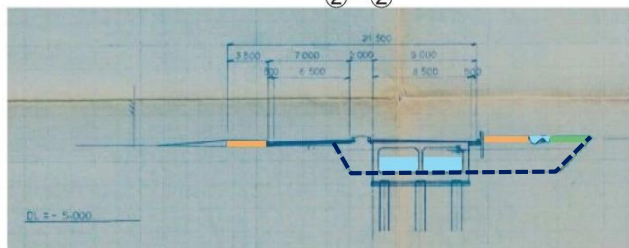


至 南国市

【横断図】 ①-①



②-②



## 5つの提言

- 1) 生態系の生息環境を悪化する河床部の全面コンクリート化は極力避けること、提案工法の中では栈橋形式が望ましい。
- 2) 太陽光線による植物の光合成や川底の酸化分解を促進するため、川面に出来るだけ直射日光を取り入れるスペースを確保すること。また、現在の新堀駐車場部に生じるオープンスペースも出来る限り広くすること。
- 3) 河川が有する自浄作用を促進するため、既存の石積は工事に支障が無いところは残すこと。また、新堀駐車場部のオープンスペースは石積護岸で整備すること。
- 4) 工事完了後に生物が定着し易いよう、ヘドロ化した河床土の入れ替えを行いオープンスペースには干潟の再整備を図ること。
- 5) シオマネキ等については施工中の被害を及ぼさないよう事前に移植しておくこと。

## 平成13年に計画を見直し

**BOX形式案**

- 工事中に河床を乱す。
- 河床がコンクリート張りとなる。
- 干潟の再構築が困難である。

**生物がほとんど生存できない**



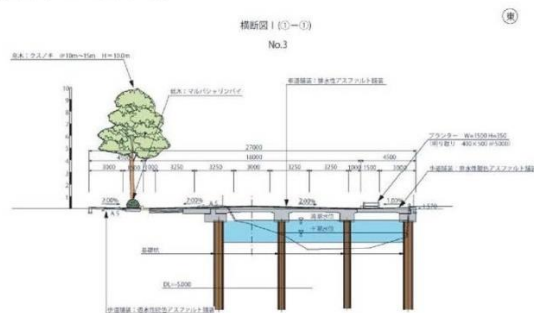
**栈橋形式案**

- 工事中に河床を乱す可能性が少ない。
- オープンスペースを確保できる。
- 干潟の再構築が可能である。

**生物が生存できる**

## 【現在の計画】

新堀川生態系検討委員会 (H13.9.6)





市民から反対続出

はりまや町一宮線の新堀川を覆うことと上り線、橋は高六六人の市民からは、道



市民の考えを聞くために開かれた説明会 (高知市の「かるはーと」)

高知市の新堀川を覆うことと上り線、橋は高六六人の市民からは、道  
本で建設される都市計画市街地再開発事業(高知市街地再開発事業)の  
「はりまや町一宮線」の計画について、説明会が開かれ、市民の意見が相  
続的に述べられた。説明会には、市民の代表者として、高知市街地再  
開発事業の推進を主張する一方、反対する声も相次いで述べられた。

果を論議するために、市  
側は説明会の開催を  
「新堀川の建設は理  
解できない」として、  
説明会を中止する  
方針を示した。

平成19年9月14日 (金)  
高知新聞朝刊 25面

新堀川工事再考を

道庁計画 住民相次ぎ要望

高知市

高知市中心部を流るはりまや町一宮線(高知)が、道  
新堀川を覆うことと上り線、橋は高六六人の市民からは、道  
本で建設される都市計画市街地再開発事業(高知市街地再  
開発事業)の「はりまや町一宮線」の計画について、説明会が開かれ、  
市民の意見が相次いで述べられた。

高知市中心部を流るはりまや町一宮線(高知)が、道  
新堀川を覆うことと上り線、橋は高六六人の市民からは、道  
本で建設される都市計画市街地再開発事業(高知市街地再  
開発事業)の「はりまや町一宮線」の計画について、説明会が開かれ、  
市民の意見が相次いで述べられた。



道庁整備の計画を求める意見相次いだ  
説明会(高知市はりまや町一宮線)

平成18年7月9日 (月)  
高知新聞朝刊 32面

新堀川覆う工事中止を

「日光遮り希少種死滅」



高知市中心部を流るはりまや町一宮線(高知)が、道  
新堀川を覆うことと上り線、橋は高六六人の市民からは、道  
本で建設される都市計画市街地再開発事業(高知市街地再  
開発事業)の「はりまや町一宮線」の計画について、説明会が開かれ、  
市民の意見が相次いで述べられた。

高知市中心部を流るはりまや町一宮線(高知)が、道  
新堀川を覆うことと上り線、橋は高六六人の市民からは、道  
本で建設される都市計画市街地再開発事業(高知市街地再  
開発事業)の「はりまや町一宮線」の計画について、説明会が開かれ、  
市民の意見が相次いで述べられた。

田中正副市長ら八人  
が建設費削減の確保を  
求める文化環境部を訪ね  
工事の中止と既設の橋  
への撤去を求めた。

平成18年4月19日 (水)  
高知新聞朝刊 22面

守れお街のシオマネキ

市民組織 県に中止陳情

高知市中心部を流るはりまや町一宮線(高知)が、道  
新堀川を覆うことと上り線、橋は高六六人の市民からは、道  
本で建設される都市計画市街地再開発事業(高知市街地再  
開発事業)の「はりまや町一宮線」の計画について、説明会が開かれ、  
市民の意見が相次いで述べられた。

高知市中心部を流るはりまや町一宮線(高知)が、道  
新堀川を覆うことと上り線、橋は高六六人の市民からは、道  
本で建設される都市計画市街地再開発事業(高知市街地再  
開発事業)の「はりまや町一宮線」の計画について、説明会が開かれ、  
市民の意見が相次いで述べられた。

平成17年5月20日 (金)  
高知新聞朝刊 23面





## (2) 工事中斷以降の整備のあり方の検討





## これまでの経緯

H7 都市計画決定

H12 事業着手

H15 工事着手

H23.3 南側区間工事中断  
(北側区間供用開始)

新堀川の水辺空間が大切であるという声の高まり

H20～  
新堀川環境調査  
交通量調査

約10年にわたりデータ  
を蓄積

H10～  
シオマネキの  
生息調査  
(浦戸湾周辺)

約20年にわたりデータ  
を蓄積

はりまや工区の工事中断区間の整備のあり方について、  
様々な立場の方からご意見をいただく時期が到来

## はりまや町一宮線(はりまや工区)まちづくり協議会

第1回(平成29年6月20日)～第5回(平成30年2月20日)

- 委員：地域住民の代表者、環境保護活動に取り組む者、学識経験者、行政関係者 計12名

整備のあり方についてのパブリックコメント(2回)

新堀川を考える新堀小OB・OG有志の会からの意見

## まちづくり協議会から知事へ提言

(平成30年2月21日)

高知市の意見を聴く (平成30年4月9日)

県の方針を明らかにする時期

## まちづくり協議会からの提言(抜粋)

- ①交通の状況、②希少動植物、③歴史・文化、④まちづくり の4つのテーマで議論を深めた。
- この4つのテーマは全て重要だが、立場によって思い入れや価値観が異なるため、全てのニーズを100%満たすことはできない。一つのテーマを追求することで、他の3つのテーマに不満を大きく残すことは適切ではない。
- それぞれのテーマの重要性を最大限に尊重し、全体として調和のとれた望ましい整備のあり方として、「新たな道路計画案」が相応しいと考える。

## 「新たな道路計画案」

希少動植物が生息・生育する自然環境や新堀川界隈に残る史跡等を守り、再生するとともに、これらを活かしたまちづくりを実現し、住民にとって安全で安心できる地域や道路づくりを最大限に実現できる最善の案



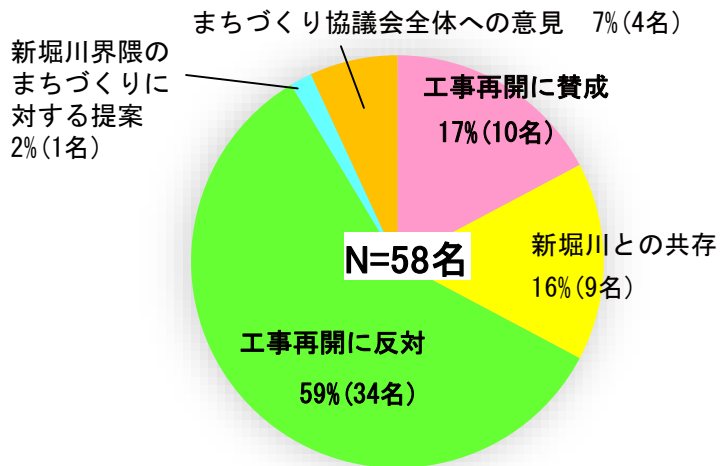
## まちづくりの主体である高知市の意見(要約)

- 子供たちの安心・安全のため、早期の整備が必要。
- 南北交通のスムーズな流れのためにも必要。
- 環境・歴史の面で相当な配慮がなされた計画。
- 横堀公園のリニューアルも含めてまちづくりに取り組んでいきたい。

- 「まちづくり協議会」からの提言や高知市の意見を踏まえ、議論の過程を今一度再確認。
- 希少種や掘割の保全方法について改めて議論。

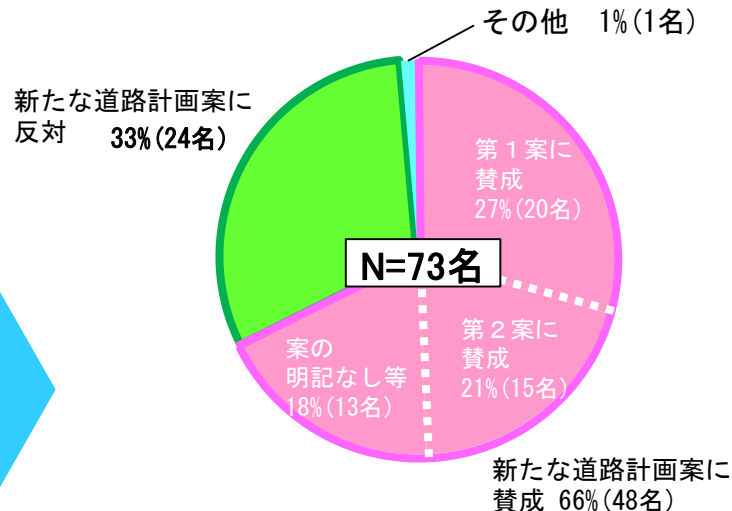
## 工事中断区間の現状に関するパブリックコメント

### ■第1回意見公募（期間：H29.7.12(水)～8.10(木)）



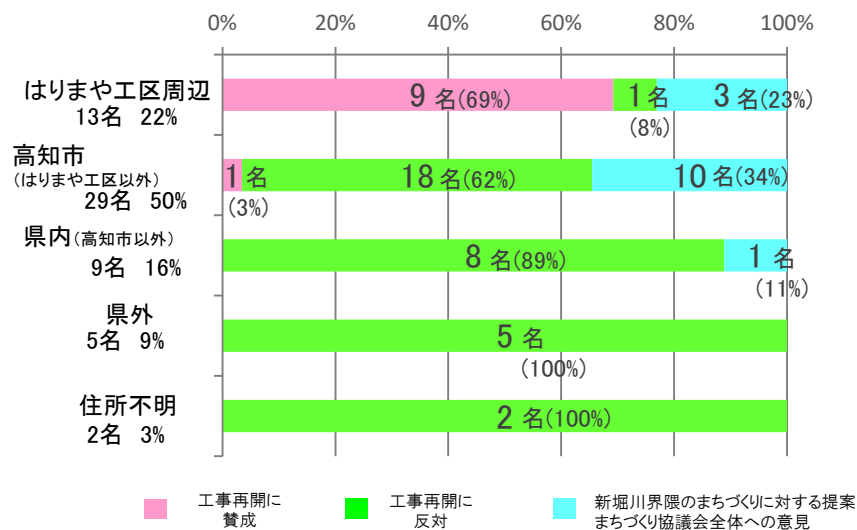
## 新たな道路計画案に関するパブリックコメント

### ■第2回意見公募（期間：H29.9.27(水)～10.26(木)）

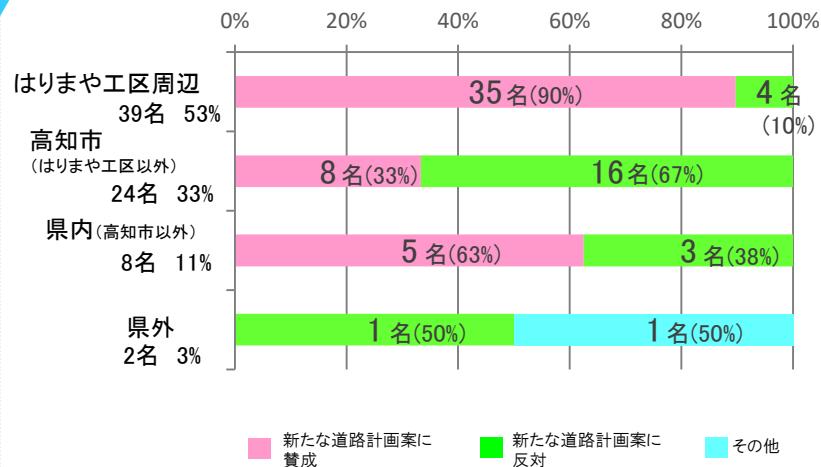


**新たな道路計画案を提案**  
(第2回まちづくり協議会)

### 【意見提出者の住所別にみる意見の内訳】



### 【意見提出者の住所別にみる意見の内訳】



※四捨五入により合計が100%とならない場合があります

平成30年2月21日

高知県知事 尾崎正直 様

はりまや町一宮線（はりまや工区）まちづくり協議会  
会長 那須清吾

## はりまや町一宮線はりまや工区の整備のあり方に関する提言

はりまや町一宮線はりまや工区（以下「はりまや工区」という。）は、新たな高知のまちづくりをめざし、JR土讃線連続立体交差事業や高知駅周辺土地区画整理事業と一体となった街路事業であり、4車線の南北幹線道路として整備が進められてきました。

これらの3つの事業が概成するなかで、はりまや工区の一部の区間については、新堀川の水辺空間が大切であるという声が高まり、平成23年度から工事が中断されています。

このため、昨年6月から、はりまや工区の果たすべき役割、新堀川の水辺環境のあり方、水辺や歴史・文化を活かしたまちづくりについて、2回のパブリックコメントによる県民の皆様からの意見を踏まえ、これまでに5回にわたり検討を重ねてきました。

この工事を中断している区間がこのまま放置されると、新堀川周辺の渋滞の発生や通学児童・高齢者等の安全が損なわれている状況が改善されず、都市内交通の円滑化やまちづくりにも影響を及ぼすことになります。一方で、高知市の中心部に希少動植物が生息・生育する自然環境や数多く保存されている史跡など、市民にとって貴重な財産が、道路の整備によって失われることは極力避けなければなりません。

また、地域住民の方々からは、この貴重な自然環境や史跡等を観光資源として活かしたまちづくりに大きな期待が寄せられています。

これらの課題に対して、高知県から示された「新たな道路計画案」は、パブリックコメントや協議会の意見、議論を踏まえ、工事を再開するのか事業を中止するのかの2つの選択肢だけではなく、これらの意見や要望を取り入れた新たな第3の計画案となっており、①交通の状況、②希少動植物、③歴史・文化、④まちづくり の4つのテーマで議論を深めてきました。

この4つのテーマは全て重要ですが、立場によって思い入れや価値観が異なるため、全てのニーズを100%満たすことはできません。1つのテーマを追求することで、他の3つのテーマに不満を大きく残すことは適切ではありません。

このため、それぞれのテーマの重要性を最大限に尊重し、全体として調和のとれた望ましい整備のあり方として、下記のとおり提言します。

### 記

#### 一 安全で円滑な交通の確保について

現状においても将来の人口減少等を考慮した推計交通量においても4車線が必要な区間となっており、地域や周辺の道路環境を改善するため、道路整備を行い交通の円滑化を図ること。

また、児童や高齢者など、歩行者と自転車とが安心して安全に通行できる自転車歩行者道を確保すること。

#### 一 希少動植物が生息・生育する環境の保全について

新堀川を覆っている駐車場を取り払い、道路幅の縮小や横堀公園の一部を切り込むなどの工夫により、水面を大きく取り、新たに干潟を創出するなど、シオマネキやコマモの生息・生育環境を再生すること。

また、整備後は、水面や干潟が希少動植物の保全のために機能しているのかを確認するため、モニタリングを実施し、必要に応じた改善を行うこと。なお、この取り組みには、はりまや橋小学校の児童や地域住民の参画を検討すること。

#### 一 歴史や文化の保存と再生について

江戸時代の掘割の風景を保全するため、川の西側の石垣はできる限り現位置で保存し、駐車場区間の東側のコンクリート擁壁や横堀公園の石垣は、江戸時代の積み方等によって、復元・再生すること。

また、新市橋の架け替えは江戸時代の橋を参考に検討するとともに、東側の川沿いの道は、歴史的な情緒溢れる風景となるよう舗装や植栽等に配慮した整備を行うこと。

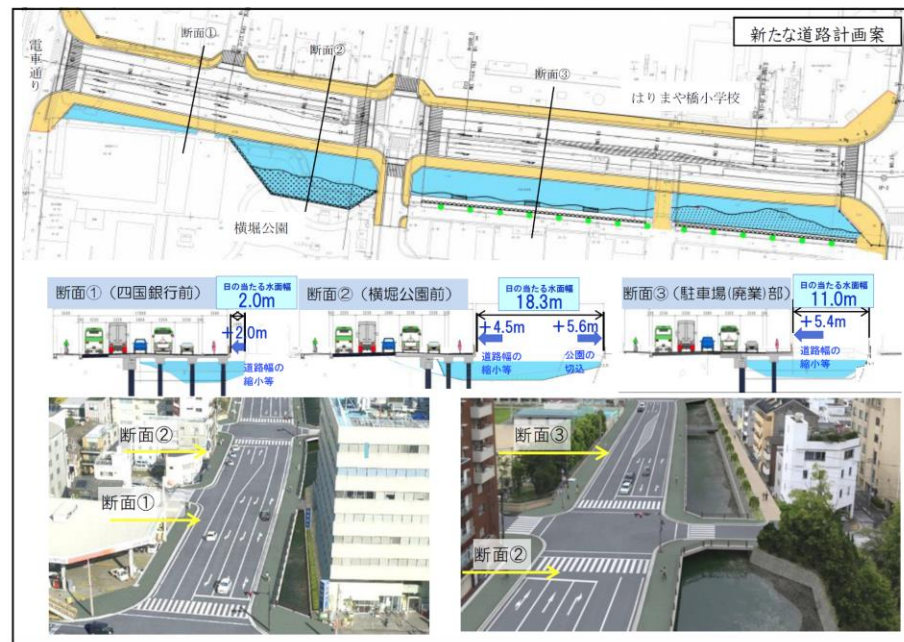
#### 一 まちづくりについて

この様にして保全、再生した自然環境や史跡等を活かした風情と活気のあるまちづくりを進めるため、高知市と連携し、まち歩きマップへの新堀川の組み込みや歴史案内板の設置などに取り組むこと。

なお、整備済区間の幅広歩道部については、植樹による憩いの場や歴史案内板の設置により、人々のたまりの場を創出すること。

このように、希少動植物が生息・生育する自然環境や新堀川界隈に残る史跡等を守り、再生するとともに、これらを活かしたまちづくりを実現し、住民にとって安全で安心できる地域や道路づくりを進めることが重要であり、これを最大限に実現できる最善の案として、「新たな道路計画案」が相応しいと考えます。

今後は、住民との協働により、本案を基礎としたまちづくりが、高知県と高知市の連携のもと実現されることを望みます。





## 【付帯事項】

平成30年2月21日

高知県知事 尾崎正直 様

はりまや町一宮線（はりまや工区）まちづくり協議会  
会長 那須清吾

はりまや町一宮線はりまや工区の整備のあり方に関する提言の付帯事項

平成30年2月20日（火）開催の第5回まちづくり協議会で審議された提言（会長案）について、出席していた委員10名（1名欠席、会長は除く）のうち、8名からは賛同を得られましたが、西岡謙一委員（新堀川界隈ネットワーク 世話人）と田中正晴委員（浦戸湾を守る会 事務局長）の2名については、提言を取りまとめるには時期尚早であるとの理由から、反対であったことを申し添えます。

## はりまや町一宮線（はりまや工区）まちづくり協議会委員名簿

分類	氏名	所 属	
		分野	職名等
地域を代表する者 (5名)	○ 橋田 剛 <small>ハシダ カクシ</small>	北街地区町内会連合会 会長	
	坂下 良文 <small>サカシタ ヨシフミ</small>	北街地区町内会連合会 副会長	
	今田 武夫 <small>イマダ タケオ</small>	はりまや町3丁目東町内会 会長	
	小原 博一 <small>オハラ ヒロカズ</small>	旧中新町1丁目町内会 会長代理	
	伊藤 篤雄 <small>イトウ アツオ</small>	江ノ口の明日を考える会 副会長	
地域の環境保護活動に取り 組む者 (2名)	西岡 謙一 <small>ニシオカ ケンイチ</small>	新堀川界隈ネットワーク 世話人	
	田中 正晴 <small>タナカ マサハル</small>	浦戸湾を守る会 事務局長	
学識経験を有する者 (4名)	◎ 那須 清吾 <small>ナス セイゴ</small>	行政経営	高知県公立大学法人 高知工科大学教授
	大野 正夫 <small>オノ マサオ</small>	自然生物 (藻類)	高知大学 名誉教授
	酒井 勝司 <small>サカイ カツシ</small>	自然生物 (十脚甲殻類)	四国大学 名誉教授 新堀川自然環境観測・検証専門委員会座長
	高橋 勇夫 <small>タカハシ イサオ</small>	自然生物 (魚類)	たかはし河川生物調査事務所長
関係行政機関の職員 (1名)	福留 正充 <small>フクドメ マサミツ</small>	高知市都市建設部都市計画課長	
計 12名			

※ ◎印は会長 ○印は副会長

現況



新たな道路計画案







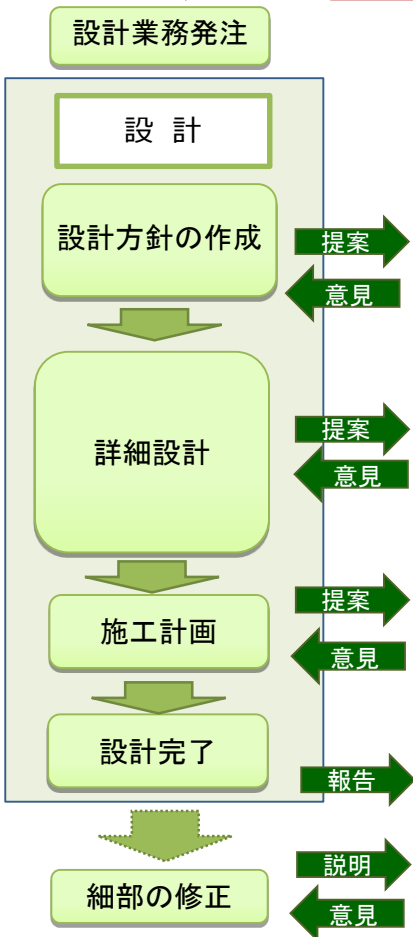
### (3) 工事再開の決定から工事着手までのスケジュール



平成30年度  
平成31年度

【6月議会】補正予算の議案上程 ～ 工事再開の決定を表明 ～

H30.6.15 まちづくり協議会(報告会) ～ 工事再開の決定の報告、今後の進め方を説明 ～



工事アドバイザー会議(工事アドバイザーへの相談)		
希少動植物が生息・生育する環境の保全	歴史や文化の保存と再生	まちづくり
第1回工事アドバイザー会議：設計方針の検討 H30.11.1		
○干潟の設計方針 ○水面の設計方針	○石垣の調査方法、設計方針、保存方針 ○東側市道、新市橋の設計方針	○横堀公園の活用方針 ○東側市道、新市橋の活用方針 ○歴史案内板の設置方針
第2回工事アドバイザー会議：設計内容の検討 H31.2頃		
○干潟の設計内容 ○水面の設計内容	○石垣の調査結果、設計内容、保存内容 ○歴史の道、新市橋の設計計画	○横堀公園の計画 ○歴史案内板・希少動植物案内板の計画
第3回工事アドバイザー会議：設計の確認、工事中の配慮の検討 H31.夏～秋頃		
○干潟の設計 ○水面の設計 ○工事中の配慮 ○モニタリングの計画	○石垣の設計、保存設計 ○歴史の道・新市橋の設計 ○工事中の配慮	○横堀公園の設計 ○歴史案内板・希少動植物案内板の設計

高知市との連携

第6回まちづくり協議会(最終回を想定) ～ 設計の詳細を報告 ～

地元説明会 【設計概要、施工方法、施工手順、通行規制の確認、環境対策(振動・騒音)】

**工事着手**  
※不測の事態や工事の進捗管理など必要に応じて工事アドバイザー会議を開催